

I. よく聞く話

「在庫台帳と現物があわない」
「棚卸し作業で3日間も費やしてしまう」

II. フィリピン人スタッフの言い訳

「受け入れ検査で単位を間違えている」
「出庫（払出）のさい、数えるのを間違える」

III. 結果として

異常が正常の棚卸しとなり、正しい在庫数量および金額が分からない

IV. どうしてそうなるのか

仕入先から納入のさい、数量カウントミス

受入検収後、現場のユーザーが勝手に持って行く

受入検収後、どこへ一時保管、もしくは移動をするのかのルールが不明瞭

資材倉庫移動後の、格納場所が未整備

資材倉庫から出庫（払出）のさい、品名または数量を間違えて出庫

棚卸しでの数量カウントミス

現場の
ハロハロ化

V. では、どうやって棚卸し差異をなくし、正確な在庫を把握するか

	中央資材倉庫にて一元集中管理	
目で見える管理化	在庫品には棚番地を 決めて、所定の棚へ格納	特定品（非在庫品）の 置き場を決める
	差し立てカンバンによる 循環棚卸しを実施	部署別に出庫棚を設置、 お届け方式へ

VI. 成果目標は？

棚卸し精度99%

どこに、なにが、いくつあるか、スグ分かる

VII. 具体的な進め方は？

ハリーコンサルティングサービスフィリピンズ株式会社へ
一度お問い合わせください